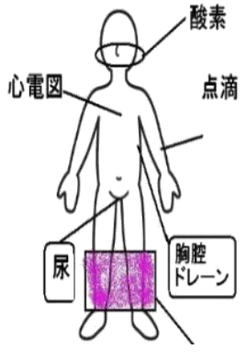
肺・縦隔・胸壁疾患手術パス

病棟　　病室

氏名：　　様

患者さんには治療計画に基づいた医療を行います。

説明日：

項目	月　日（　）	月　日（　）：手術当日	月　日（　）	月　日()～ 月　日()	月　日()～ 月　日()	月　日（　）
イベント	入院日～手術前日	術前	術後	術後1日目	術後2～3日目:ドレーン抜去まで	術後4～5日目	術後6日目:退院日
	病棟		病棟　または　ICU	ICU ⇒ 病棟	病棟		
目標	・治療について理解でき、手術の準備ができる		・術後の合併症(呼吸、循環、皮膚)がない ・ドレーンの異常がない		・創部に問題がない ・痛みのコントロールができる	・創部に問題がない ・退院後の注意点がわかる ・痛みのコントロールができる	
検査 処置	・身長、体重測定 ・呼吸練習(3回) (看護師が説明に伺います)	・弾性ストッキングを履き、手術着に着替えます	・痛み止めのチューブが背中側に入っています ・血栓予防のため翌日まで足に機械をつけます	・採血、胸部レントゲン ・創部の消毒 ・朝、尿の管を抜きます	・創部の状態に応じて処置をします ・胸部レントゲン ・採血(術後3日目) ＊検査を行う時は前日にお知らせします		・傷に貼っているフィルムを剥がします ・レントゲンの結果で肺の膨らみが前日と変わらなければ退院となります
点滴		・手術開始時間により、術前から点滴を開始することがあります	・点滴があります				
内服薬	・薬剤師が、持参薬を確認します ・指示に従い服用してください	・指示された薬のみ服用してください	・服用する薬はありません	・術後痛み止めなどの薬を開始します	・術後に処方された薬を服用してください		・指示された薬を服用してください
食事	・食事が出ます	・飲食可能時間は、医師の指示に従ってください	・禁食です。飲水は医師の指示に従ってください	・朝食から開始します	・食事が出ます		
清潔	・シャワー浴可です	・シャワー浴不可です ・洗顔、歯磨きをしてください		・体を拭き、着替えます	・胸の管が入っている間は、下半身のみシャワー浴可です	・管が抜けた2日後から、全身のシャワー浴可です	
活動 安静度	・制限はありません		・ベッド上安静です	・朝から歩行できます。術後初回歩行は、看護師と一緒に行います	・早期回復のため歩くようにしましょう		・次の外来受診や内服薬について、看護師、薬剤師が説明します ・外来受診日の予約票をお渡しします **《退院後の注意点》** ・痛みが急激に強くなったとき、発熱、息苦しさ、傷口に異常があるときは、次の外来日前でも病院に連絡をして受診をしましょう ・次の外来日までに旅行や激しい運動を考えている方は、医師に相談してください ・禁煙は、退院後も続けましょう。飲酒も次の外来日までは控えてください ・風邪予防のために、手洗い、うがいを心がけてください ・内服薬は用量、用法を守りましょう ・次回外来日までは、入浴はせずシャワー浴としてください
排泄	・制限はありません		・尿の管が入っています	・尿の管が抜けたら、トイレへ行けます			
説明	＜看護師より＞ ・患者識別バンドを装着します ・入院生活、手術前後について説明をします ・入院までの生活状況をお聞きします ＜麻酔科医師より＞ ・診察し、麻酔説明をします。手術開始時間が決定します ＜担当医師より＞ ・手術説明をします **＜必要な物品＞** ・コップ、ストロー又は吸い飲み、T字帯 ・トライボールは医師に確認後、購入して頂くことがあります	・手術開始時間に合わせて看護師と一緒に手術室へ移動します	・痛い時には、痛み止めを使用しますので、ナースコールでお知らせください 	・ICUへ入室する方は、お昼前に病室へ帰りますので歩行開始は多少異なります  **痛みがある場合や呼吸が苦しい場合は、すぐにナースコールでお知らせください** **痛みは手術後2日目位をピークに徐々に軽減していきます。管が抜けるとかなり楽になりますが、手術時、肋骨周囲の神経に触れる影響で脇腹にピリピリした感じが続く場合があります。湿布をしたり暖めたりすることで緩和できますが、症状が続くこともあります。ご理解ください。** 	・レントゲンで肺の膨らみが十分と医師が判断したら、鉗子で胸の管を止め、吸引の器械をはずします ・翌日のレントゲンで肺の縮みがないと確認されれば、胸の管を抜きます	・胸の管が抜けたら、傷と管が抜けた部分の洗い方を看護師が説明します 	

患者さんの状態により、スケジュール内容が多少異なる場合があります。　経過はその都度、個別にご説明します。

東京女子医科大学附属足立医療センター　2026年5月第4版